

 評価のポイント

CL- I . ケアする力 (共通)

[29-1] 自殺のリスクアセスメント～プリベンションを中心に～

自殺念慮を訴える患者（現在関わっている患者でも、過去に関わっていた患者でもどちらでも良い）を 1 人思い浮かべ、その患者の自殺リスクアセスメントを「長期的視点」と「短期的視点」の両面で捉えてみてください。

そして、自殺のリスクアセスメントを「長期的視点」と「短期的視点」の両面から総合的に評価することの必要性や、課題などを自由に述べてみましょう。

自殺のリスクアセスメントは、自殺ハイリスク群に属する患者かどうかといった「長期的な視点」と、自殺の危機が差し迫っている患者かどうかといった「短期的な視点」での評価を合わせて、総合的に判断する必要があります。患者の自殺念慮を漫然とらえるのではなく、現時点で「自殺ハイリスク患者」であるかどうかを捉える必要があるためです。ただし、リスクが低いと評価されても自殺が起こる場合があります。リスクの高い、低い、といった判断だけで自殺のリスクを見積もることが現実的には難しいといった側面もあります。このことを踏まえて自殺のリスクアセスメントの有用性や課題を考える必要があります。